

地盤工学会 広報委員会

平成 23 年度 第 4 回委員会

議題録

日 時 平成 23 年 10 月 4 日 (火) 15:00-17:30

場 所 3 階中会議室

出席者 田中委員長、土倉幹事長、稲葉、藤原、森口、岡島、浅田、今村、清木 各委員
(事務局) 長尾

欠席者 石蔵、佐々、安部、西岡、久保、井上 各委員

議事録 (稲葉) 井上⇒竹本⇒西岡⇒久保⇒森口⇒清木⇒土倉⇒石蔵⇒岡島⇒浅田

議 題

1. 委員長挨拶

2. 前回議事録確認

資料 1

3. 報告事項 (田中委員長)

(1) 理事会, 総務部会

資料 2

- ・総務部会において田中委員長から広報委員会活動および第 6 回メディア懇談会開催について報告された。また、中学生から当学会へ問い合わせがあった件については学会誌 11 月号に載せる旨報告された。
- ・台風 12 号豪雨災害調の調査団の派遣について、地盤工学会と土木学会で連携して派遣することとしているがスケジュール調整が難航し遅れている。中部支部では 9/27 に調査団を派遣したとのこと (三重県のみ調査)。
- ・総務部再編について。公益法人化に伴い 11/1 から事務体制が切り替わる。また人事異動の関係で広報担当の事務局が長尾さんから新田さんへ代わる予定。

(2) 学会の広報活動報告 (8/8-10/4 の間) (事務局)

資料 3

- ・メールニュース 3 件、メールマガジン本部 10 件、中国支部 1 件、四国支部 4 件配信済 (8/8~10/4)。

(3) HP での新規入会希望者へのダイバーシティ会費減免措置の案内 (浅田)

- ・地盤工学会 HP の「新規申込」メニューにダイバーシティに関する情報を記載した。
- ・現状、2 年の期間が設定されているが、現在推進している上層部の任期で区切っていることによるもの。上層部の交代時にまた検討する必要あり。また、検討材料としてダイバーシティによる効果を調査する必要がある。
- ・産休や障害者への適用は恒久化してもよいのではないか。
→会費収入減につながる可能性があるので慎重に検討。
- ・学会としてダイバーシティへの取り組みを行っているというアピールをすることも目的となっている。

- ・学生会費の減免措置については来年度実施予定。
- ・継続するのか中止するのかは、明日の理事会でも確認する。
- ・同様にダイバーシティ委員会でも討議することとする。

(4) 学会の年表（田中委員長）

資料 4

- ・検討の結果、記載内容は以下の項目とする。
 - ・2010 年度の「学会の動き」は 11/1 に公益社団法人化したことを記載。
 - ・2010 年度の「世の中の動き」は、チリ鉱山落盤事故、ハイチ地震、気象庁観測史上最も暑い夏、Darfield 地震を記載。
 - ・2011 年度の「学会の動き」は東北地方太平洋沖地震対応、第 14 回 ARCSMEGE 開催、インド地盤工学会との学術協定締結を記載。
 - ・2011 年度の「世の中の動き」はクライストチャーチ地震、東北地方太平洋沖地震、東北新幹線開業、九州新幹線開業、テレビ地上デジタル移行（東北除く）を記載。
- ・英文 HP には以下を記載する。
 - ・2010 年度 公益社団法人化
 - ・2011 年度 東日本大震災への対応
- ・マグニチュードの定義はいろいろあるので田中委員長より専門家へヒアリングの上できるだけ統一するようにする。
- ・地震の記載方法（～～地震（M〇〇）？）もできるだけ統一する。

4. 審議事項

(1) 広報関係の最近の動き（田中委員長）

資料 5

- ・学会 HP のバナー作成ルールについてガイドラインが必要。後ほど議論する。
- ・出前授業について、広報委員会で受けるケースと支部で受けるケースがある。窓口を一本化すべきではないか。
 - 地元の話もすると思うので基本的に支部で対応してもらう方がよい。
 - 今回の千葉県市川東高校の依頼については、土倉幹事長から関東支部の菊池幹事長へ話をし関東支部で対応してもらうこととする。
- ・現場を知らない学会職員の現場見学レポートという新企画について審議したい。
 - 基本的に賛成だが、職員のスケジュール調整と、本職務が業務の一環であるということを学会事務局内で共通認識としておく必要がある。
 - 一般向け広報の位置づけであれば、一般の方が興味を持ちやすい現場を選んだ方がよい。
 - 事務局引継ぎが落ち着いた時期に再度検討することとする。
 - 本件は企画 WG にて議題を引き取り継続検討とする。
 - 最初は田中委員長が候補現場を選定してその中から職員に選んでもらうこととする。

(2) HP 運用 WG（森口 WGL、メンバー：西岡委員、石蔵委員、佐々委員）関連事項

資料 6

- ・学会 HP について、左側のメニューをスリム化し、ダイバーシティのバナーを追加することとする。
- ・HP のバナー作成について運用ルールを議論し以下を決定した。
- ・バナーを作成するものは、とりあえず、①地盤工学会を含む日本の団体が主催する国際会議、②地盤工学会研究発表会、③入会案内、④一般向けコンテンツ（現在未整備）とする。5～6 つのバナーを置く場所を HP 内に確保し、バナーが増えてきた場合は優先順位の高いものを適宜入

れ替えて表示することとする。

- ・バナー変更等は広報委員会の了承を得ることとする。緊急時にはメール会議で対応。
- ・当運用ルールは規約化しない。
- ・HP のメニュースリム化、バナーについては森口委員よりキャルスステーションに相談する。

(3) 学会 IT 環境整備 WG (稲葉 WGL、メンバー：井上委員、今村委員、清木委員) 関連事項

資料 7

- ・ GoogleAnalytics による学会 HP のアクセス解析について報告。
- ・ 2009 年より学会アクセス数は変化なし。
- ・ メールニュース、yahoo 等の電子ニュースによってアクセス数が増加する傾向が見られる。
- ・ 検索エンジンから訪問する人が多く、検索キーワードは「地盤工学会」「jgs」が多い。
- ・ その他 CPD 関連サイトから訪問する人も多い。
- ・ 学会内 HP のうちトップページから入る人が圧倒的多数。
- ・ 以上より、現段階では目的を持って学会 HP に来る人が大多数であり、ある意味会員向けの HP となっていると言える。よって今後、一般向けコンテンツを充実させることが学会広報の目的からは重要な施策となる。
- ・ また、トップページから入る人が多いので、トップページから目的の情報へ簡単にたどり着けるようにすることも重要。
- ・ 今後、広報委員会 2 回に 1 回程度 (4 ヶ月に 1 回程度) アクセス解析について継続的に報告していくこととする。

(4) 対外広報活動 WG (藤原 WGL、メンバー：久保委員、安部委員、岡島委員) 関連事項

資料 8、9

- ・ 子供のための絵本出版企画についての打ち合わせについて報告された。
- ・ 絵本を出版するための準備段階としてリーフレットを作成することとしたい。
- ・ イラストレーターに絵を頼むと高額になるためボランティアを募りたい。
→ 画風がわかる人に直接頼む方がよいのでは。
- ・ 出版社に発行をお願いすると、地盤工学会発行ではなくなり、学会へのメリットは少ない。ただその場合でも HP への転載は許可されることが多いらしい。
- ・ 絵本の出版とリーフレット作成は分けて考えた方がよい。出版に関しては出版企画委員会との調整も必要。
- ・ 対外広報活動 WG にて、リーフレット作成について、おおまかなイメージ図を用いて構成等を検討することとする。イラストレーターについては別途調査する。(田中委員長の知人、および、学会職員にとりあえず話をしてみる)
- ・ 絵本出版については、出版企画委員会や関東支部で動きがあるようなので、広報委員会とも情報を共有してしこりが残らないようにし、効率的に進める必要がある。そのため田中委員長より関係者へ情報を提供することとした。
- ・ その他、一般向けコンテンツとして JST の WEB ラーニングが有用であるので、広報活動の一環として学会 HP にリンクを貼るなどしてもよいかもしれない。

(5) 委員の交代 (事務局より報告)

高木宗男 委員 ((株) 高速道路総合技術研究所) → 安部哲生 氏 (同左) 業務の都合による

5. その他

(1)次回委員会 平成23年12月9日(金) 15:00～ 地盤工学会 会議室

※対外広報WGを13:30から同日開催。

配付資料

資料1：平成23年度第3回委員会議事録(案)

資料2：理事会, 総務部会関連, 学会HP抜粋

資料3：学会の広報活動報告(8/8-10/4)

資料4：2010, 2011年の年表案

資料5：広報関係の最近の動き

資料6：HP運用WG活動報告

資料7：GoogleAnalyticsによるアクセス解析

資料8：第1回子供のための絵本出版企画に関する打合せ(広報委員会対外広報活動WG)議事録案

資料9：小学校～中学校向けのわかりやすい技術資料(全体構成の案)

以上